

（参考）

平成28年3月期 第1四半期連結決算概要平成27年7月31日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (7/31発表値)	
					2Q累計	通期
売上高	3,892	3,791	△101	15,501	7,300	14,400
営業利益	104	227	123	420	330	650
経常利益	86	233	147	444	310	580
親会社株主に帰属する 当期純利益	34	168	134	173	180	320
為替レート 円/US\$	102	121	19	110	121	120
国産ナフサ価格 円/KL	69,900	49,000	△20,900	63,500	47,000	48,500

2. セグメント別売上高・営業利益
・売上高

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減			平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (7/31発表値)	
			計	数量差	価格差		2Q累計	通期
ヘルスケア	342	465	123	116	7	1,382	820	1,560
機能樹脂	426	464	38	10	28	1,745	910	1,780
ウレタン	357	385	28	36	△8	1,548	700	1,230
基礎化学品	856	748	△108	14	△122	3,308	1,560	3,020
石化	1,517	1,310	△207	35	△242	5,844	2,470	5,060
フード&パッケージング	307	328	21	17	4	1,292	640	1,350
その他	87	91	4	4	-	382	200	400
合計	3,892	3,791	△101	232	△333	15,501	7,300	14,400

・営業利益

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減				平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (7/31発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		2Q累計	通期
ヘルスケア	25	19	△6	7	3	△16	91	45	110
機能樹脂	39	76	37	10	25	2	187	135	245
ウレタン	△22	△17	5	-	7	△2	△35	△30	△50
基礎化学品	△31	10	41	1	29	11	△79	0	0
石化	75	108	33	7	49	△23	216	150	295
フード&パッケージング	31	47	16	10	10	△4	91	75	130
その他	1	△4	△5	-	-	△5	9	-	-
全社費用等	△14	△12	2	-	-	2	△60	△45	△80
合計	104	227	123	35	123	△35	420	330	650

当期より、事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントを変更しております。

なお、平成27年3月期の金額は、平成28年3月期の業績予想対比のための概算数値であり、監査を受けておりません。

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (7/31発表値)	
					2Q累計	通期
資産売却益	2	3	1	23	3	3
固定資産処分・売却損	△2	△7	△5	△45	△22	△62
減損損失	△2	-	2	△53	-	-
関連事業損失	-	△1	△1	-	△1	△1
その他	△2	-	2	△11	-	-
合計	△4	△5	△1	△86	△20	△60

4. 貸借対照表

（単位：億円）

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H27/3末	H27/6末	増減		H27/3末	H27/6末	増減
流動資産	7,317	7,172	△ 145	有利子負債	5,487	5,348	△ 139
有形固定資産	4,336	4,312	△ 24	その他負債	3,918	3,726	△ 192
無形固定資産	728	680	△ 48	自己資本	4,062	4,226	164
投資等	1,737	1,785	48	非支配株主持分	651	649	△ 2
資産計	14,118	13,949	△ 169	負債純資産計	14,118	13,949	△ 169

(NET D/E) (1.22) (1.13) (△ 0.09)

5. キャッシュ・フロー

（単位：億円）

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (7/31発表値)	
					2Q累計	通期
営業キャッシュ・フロー	120	355	235	583	500	870
投資キャッシュ・フロー	△ 75	△ 121	△ 46	△ 350	△ 300	△ 530
（フリーキャッシュ・フロー）	(45)	(234)	(189)	(233)	(200)	(340)
財務キャッシュ・フロー	△ 218	△ 188	30	△ 466	△ 210	△ 290
その他	△ 4	-	4	27	-	-
現預金等増減	△ 177	46	223	△ 206	△ 10	50
現預金等残高	535	552	17	506		

6. 当期のトピックス

- ・大牟田工場にて新規ポリウレタン材料の新プラント建設着工（平成27年4月）
（特殊イソシアネートFORTIMO®及びSTABiO®製造設備、2千t/年、平成28年8月営業運転予定）



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuiichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小澤 敏

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	379,105	△2.6	22,715	118.1	23,259	171.0	16,814	397.0
27年3月期第1四半期	389,166	7.2	10,415	12.0	8,582	△12.9	3,383	△28.4

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 21,225百万円 (365.4%) 27年3月期第1四半期 4,561百万円 (△71.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	16.80	—
27年3月期第1四半期	3.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	1,394,911	487,514	30.3	422.24
27年3月期	1,411,790	471,299	28.8	405.88

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 422,575百万円 27年3月期 406,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	730,000	△5.9	33,000	77.6	31,000	59.6	18,000	144.4
通期	1,440,000	△7.1	65,000	54.6	58,000	30.6	32,000	85.4

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	1,022,020,076 株	27年3月期	1,022,020,076 株
28年3月期1Q	21,220,559 株	27年3月期	21,154,633 株
28年3月期1Q	1,000,821,370 株	27年3月期1Q	1,001,205,692 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成27年7月31日に、機関投資家、アナリスト向けネットコンファレンスを開催する予定です。説明会の音声の説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	13
4. 補足情報	15
企業集団の状況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日の3ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国での景気回復、ヨーロッパでの緩やかな景気持ち直しの動きが見られる一方、中国・新興国においては依然として景気減速の動きが継続しております。

日本では、消費者マインドや企業収益の改善、住宅建設の持ち直しなどを背景として、景気は緩やかな回復基調が継続しております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	3,791	227	233	168
前年同四半期	3,892	104	86	34
増減額	△101	123	147	134
増減率(%)	△2.6%	118.1%	171.0%	397.0%

売上高は、前年同四半期に比べ101億円減(2.6%減)の3,791億円となりました。これは、主にヘルスケア事業における決算期変更による6ヶ月分の売上高の取込み等により、販売数量増加の影響が232億円あったものの、ナフサなどの原燃料価格下落による販売価格の改定による販売価格下落の影響が333億円あったことなどによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ123億円増(118.1%増)の227億円となりました。これは、主に増販や原料価格下落による交易条件の改善等によるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ147億円増(171.0%増)の233億円となりました。これは、営業利益が増加したことに加え、為替差損益の改善等の影響により、営業外損益が前年同四半期に比べ23億円改善したことによるものです。

特別損益は、前年同四半期に比べ固定資産処分損等が増加したため、5億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ145億円増(177.9%増)の227億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ134億円増の168億円となり、1株当たり四半期純利益金額は16.80円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

当社は、平成26年度中期経営計画における事業戦略、新事業・新製品創出戦略及び事業支援戦略の加速を図るため、平成27年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能化学品セグメントのうち、精密化学品事業を基礎化学品セグメントに、ライセンス事業を石化セグメントに移管し、ヘルスケア材料事業、不織布事業及び歯科材料事業をヘルスケアセグメントとしております。また、従来の機能化学品セグメントの農薬事業とフィルム・シートセグメントを統合し、新たにフード&パッケージングセグメントとしております。

なお、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期分を変更後のセグメントに組み替えて行っております。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ123億円増の465億円、売上高全体に占める割合は12%となりました。一方、営業利益は、増販効果があったものの固定費増加等により、前年同四半期に比べ6億円減の19億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

ヘルスケア材料のメガネレンズ用材料、**不織布**は、海外の需要拡大等を受けて販売を拡大しました。

歯科材料は決算期変更による6ヶ月間の損益取込みの影響により、のれん償却費等の固定費が増加しております。

(機能樹脂)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ38億円増の464億円、売上高全体に占める割合は12%となりました。また、営業利益は、円安効果及び需要拡大への的確な対応等により、前年同四半期に比べ37億円増の76億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、円安効果及びグローバルな需要に的確に対応し、収益を拡大しました。

機能性コンパウンド製品は、円安効果及び北米・アジアを中心とする自動車用途の堅調な需要に的確に対応し、収益を拡大しました。

また、**機能性ポリマー**についても、円安効果及び電子情報関連用途の需要拡大に的確に対応し、収益を拡大しました。

(ウレタン)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ28億円増の385億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。また、営業損失は、ポリウレタン材料の海外市況下落があったものの円安及び原材料価格下落等の影響により、前年同四半期に比べ5億円改善の17億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・営業損失の改善となりました。

コーティング材料は、海外での需要拡大及び交易条件の改善等により収益を拡大しております。

一方、**ポリウレタン材料**は、主要用途である家具向けの低調、市況低迷の継続により、厳しい状況が続いております。

(基礎化学品)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ108億円減の748億円、売上高全体に占める割合は20%となりました。一方、営業損益は、当社が進めてきた事業再構築の効果が発現したことを受け、前年同四半期に比べ41億円改善の10億円の利益となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

フェノールは、前年同四半期に比べ市況は改善しているものの、同業他社の新設立ち上げ影響等により、依然として市況水準は低く、厳しい状況が続いております。

高純度テレフタル酸は、中国市況の低迷を背景に、厳しい状況が続いております。

(石化)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ207億円減の1,310億円、売上高全体に占める割合は35%となりました。一方、営業利益は、交易条件の改善により、前年同四半期に比べ33億円増の108億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率が前年同四半期を上回りました。また、北中米の自動車生産台数の増加等により、海外PPコンパウンド事業の収益は順調に推移しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ21億円増の328億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業利益は、販売の拡大や交易条件改善等により、前年同四半期に比べ16億円増の47億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

機能性フィルム・シートは、スマートフォン等を始めとした高付加価値分野における需要の拡大、新製品の拡販及び円安効果等により、収益を拡大しております。

農薬は、国内において消費増税の反動を受けた前年に対して増販しました。また、海外においては円安効果等により、収益が拡大しました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ4億円増の91億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。一方、営業損益は、前年同四半期に比べ5億円悪化の4億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(資産、負債、純資産の状況)**

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ169億円減の1兆3,949億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ331億円減の9,074億円となりました。また、**有利子負債**は139億円減の5,348億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.6ポイント減の38.3%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ162億円増の4,875億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ1.5ポイント増の30.3%となりました。

以上により、当期末の**ネット有利子負債(有利子負債－現預金)／自己資本比率(ネットD/Eレシオ)**は、前期末に比べ0.09ポイント減の1.13となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報**(業績の見通し)**

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成27年7月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、修正を行っております。

第2四半期連結累計期間の為替レート及び国産ナフサ価格は、121円/\$、47,000円/KLを前提としております。

通期の業績につきましては、ナフサクラッカーの稼働が高水準で推移していることに加え、北中米を中心に海外PPコンパウンド事業が順調に拡大していることから、石化セグメントの収益が増加する見込みです。また、機能樹脂セグメントやフード&パッケージングセグメント等における販売数量の増加も見込まれます。

下期の事業を取り巻く環境は不透明なものの、通期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想値から増加する見込みです。

通期の為替レート及び国産ナフサ価格は、120円/\$、48,500円/KLを前提としております。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
第2四半期 連結累計期間	7,300	330	310	180
通期	14,400	650	580	320

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高								
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード &パッ ケージ ング	その他	全社 費用等	合 計
第2四半期 連結累計期間	820	910	700	1,560	2,470	640	200	-	7,300
通期	1,560	1,780	1,230	3,020	5,060	1,350	400	-	14,400

(単位：億円)

	営 業 利 益								
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード &パッ ケージ ング	その他	全社 費用等	合 計
第2四半期 連結累計期間	45	135	△30	0	150	75	-	△45	330
通期	110	245	△50	0	295	130	-	△80	650

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組み替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,004	56,282
受取手形及び売掛金	299,052	294,258
たな卸資産	291,295	280,034
繰延税金資産	9,118	9,165
未収入金	70,981	66,325
その他	10,079	11,920
貸倒引当金	△821	△777
流動資産合計	731,708	717,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	337,811	337,613
減価償却累計額	△229,306	△230,303
建物及び構築物(純額)	108,505	107,310
機械装置及び運搬具	1,012,850	1,016,698
減価償却累計額	△888,755	△895,198
機械装置及び運搬具(純額)	124,095	121,500
土地	160,188	160,187
建設仮勘定	28,994	31,068
その他	73,035	72,186
減価償却累計額	△61,188	△61,010
その他(純額)	11,847	11,176
有形固定資産合計	433,629	431,241
無形固定資産		
のれん	34,978	32,051
その他	37,785	35,987
無形固定資産合計	72,763	68,038
投資その他の資産		
投資有価証券	109,830	114,416
退職給付に係る資産	25,170	26,807
繰延税金資産	5,853	5,997
その他	33,706	32,047
貸倒引当金	△869	△842
投資その他の資産合計	173,690	178,425
固定資産合計	680,082	677,704
資産合計	1,411,790	1,394,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,193	153,502
短期借入金	122,062	104,130
1年内返済予定の長期借入金	36,192	42,393
1年内償還予定の社債	20,142	20,142
未払法人税等	4,103	3,832
役員賞与引当金	93	30
修繕引当金	10,601	10,924
事業構造改善引当金	1,290	1,992
資産除去債務	25	28
その他	89,798	82,277
流動負債合計	448,499	419,250
固定負債		
社債	79,858	79,787
長期借入金	289,138	287,073
繰延税金負債	24,421	24,728
役員退職慰労引当金	283	230
修繕引当金	2,147	2,856
環境対策引当金	956	826
事業構造改善引当金	10,846	9,639
退職給付に係る負債	59,193	58,297
資産除去債務	4,268	4,237
その他	20,882	20,474
固定負債合計	491,992	488,147
負債合計	940,491	907,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	165,408	179,008
自己株式	△14,454	△14,480
株主資本合計	367,072	380,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,018	23,838
繰延ヘッジ損益	△331	△87
為替換算調整勘定	28,926	27,711
退職給付に係る調整累計額	△10,450	△9,533
その他の包括利益累計額合計	39,163	41,929
非支配株主持分	65,064	64,939
純資産合計	471,299	487,514
負債純資産合計	1,411,790	1,394,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	389,166	379,105
売上原価	330,872	300,329
売上総利益	58,294	78,776
販売費及び一般管理費	47,879	56,061
営業利益	10,415	22,715
営業外収益		
受取利息	80	132
受取配当金	679	698
持分法による投資利益	316	1,312
為替差益	—	591
その他	947	1,050
営業外収益合計	2,022	3,783
営業外費用		
支払利息	1,823	1,804
為替差損	954	—
その他	1,078	1,435
営業外費用合計	3,855	3,239
経常利益	8,582	23,259
特別利益		
固定資産売却益	—	21
投資有価証券売却益	175	266
特別利益合計	175	287
特別損失		
固定資産処分損	162	751
固定資産売却損	—	5
減損損失	236	—
関連事業損失	—	60
退職給付制度改定損	181	—
特別損失合計	579	816
税金等調整前四半期純利益	8,178	22,730
法人税等	2,916	4,063
四半期純利益	5,262	18,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,879	1,853
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,383	16,814

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	5,262	18,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,189	2,783
繰延ヘッジ損益	111	321
為替換算調整勘定	△3,900	△1,218
退職給付に係る調整額	2,981	946
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,082	△274
その他の包括利益合計	△701	2,558
四半期包括利益	4,561	21,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,350	19,580
非支配株主に係る四半期包括利益	1,211	1,645

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード& パッケー ジング	計		
売上高									
外部顧客への売上高	34,213	42,552	35,674	85,609	151,671	30,672	380,391	8,775	389,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	308	4,757	697	6,427	39,113	984	52,286	16,609	68,895
計	34,521	47,309	36,371	92,036	190,784	31,656	432,677	25,384	458,061
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,493	3,894	△2,161	△3,111	7,530	3,093	11,738	72	11,810

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,738
「その他」の区分の利益	72
セグメント間取引消去等	—
全社費用(注)	△1,395
四半期連結損益計算書の営業利益	10,415

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード& パッケー ジング	計		
売上高									
外部顧客への売上高	46,537	46,396	38,503	74,767	130,982	32,759	369,944	9,161	379,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	380	4,664	576	4,729	32,189	969	43,507	14,737	58,244
計	46,917	51,060	39,079	79,496	163,171	33,728	413,451	23,898	437,349
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,879	7,634	△1,715	1,035	10,830	4,699	24,362	△417	23,945

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	24,362
「その他」の区分の損失(△)	△417
セグメント間取引消去等	173
全社費用等(注)	△1,403
四半期連結損益計算書の営業利益	22,715

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社は、平成26年度中期経営計画における事業戦略、新事業・新製品創出戦略及び事業支援戦略の加速を図るため、平成27年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能化学品セグメントのうち、精密化学品事業を基礎化学品セグメントに、ライセンス事業を石化セグメントに移管し、ヘルスケア材料事業、不織布事業及び歯科材料事業をヘルスケアセグメントとしております。また、従来の機能化学品セグメントの農薬事業とフィルム・シートセグメントを統合し、新たにフード&パッケージングセグメントとしております。

以上のセグメント区分の変更により、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、以下のとおりであります。

セグメント		主 要 製 品
報告セグメント	ヘルスケア	ヘルスケア材料、不織布、歯科材料
	機能樹脂	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー
	ウレタン	ポリウレタン材料、コーティング材料、接着材料、成形材料
	基礎化学品	フェノール、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、 ペット樹脂、エチレンオキサイド、特殊ガス、化成品
	石化	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒
	フード&パッケージング	機能性フィルム・シート、農薬
その他	その他	その他関連事業等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(韓国 SKC 社とのポリウレタン材料事業合弁会社設立)

当社と、韓国 SKC Co., Ltd. (以下「SKC」といいます。)とのポリウレタン材料事業の統合について、平成 26 年 12 月 22 日に SKC と締結した契約に基づき、平成 27 年 7 月 1 日に Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. (以下「韓国合弁会社」といいます。)が発足いたしました。

また、当社のポリウレタン材料事業については、同日、受取対価を現金とする吸収分割(以下「会社分割」といいます。)により、当社が設立した三井化学 SKC ポリウレタン株式会社 (以下「日本合弁会社」といいます。)に承継させた上で、その全株式を韓国合弁会社が保有いたしました。

その結果、韓国合弁会社に対する当社の持分比率は 50%となり、同社は当社の持分法適用会社となりました。

① 会社分割の概要

1) 分割先企業の名称及び概要

分割先企業の名称：三井化学 SKC ポリウレタン株式会社

分割先企業の概要

- ・所在地 : 東京都港区東新橋一丁目 5 番 2 号
- ・事業内容 : ポリウレタン材料の製造・販売・研究
- ・資本金 : 180 億円

2) 分割した事業の内容

ポリウレタン材料の製造・販売・研究

3) 会社分割を行った主な理由

当社と SKC 両社のポリウレタン材料事業を一体化し、両社が長年に亘り蓄積してきたノウハウや情報を活用することで、統合シナジーを最大化させ、顧客にトータルソリューションを提供することを目的とし、本事業分離を実施することとしました。

4) 会社分割日

平成 27 年 7 月 1 日

5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

i. 法的形式

受取対価を現金とする吸収分割

ii. その他取引の概要

当社は、会社分割の発効と同時に、日本合弁会社の全株式を韓国合弁会社に現物出資いたしました。

韓国合弁会社の概要は以下のとおりです。

- ・商号 : Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc.
- ・所在地 : 韓国ソウル
- ・事業内容 : ポリウレタン材料の製造・販売・研究
- ・資本金 : 700億韓国ウォン
- ・大株主及び持ち株比率 : 当社(50%)※、SKC(50%)

※同社は当社の持分法適用会社となりました。

②実施した会計処理の概要

「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、会計処理を行います。

なお、移転したポリウレタン材料事業に関する投資は清算されたものとみて、それに係る移転損益等を認識する予定であります。

③分割した事業が含まれていた報告セグメントの名称

ウレタンセグメント

4. 補足情報

企業集団の状況(組織改正)

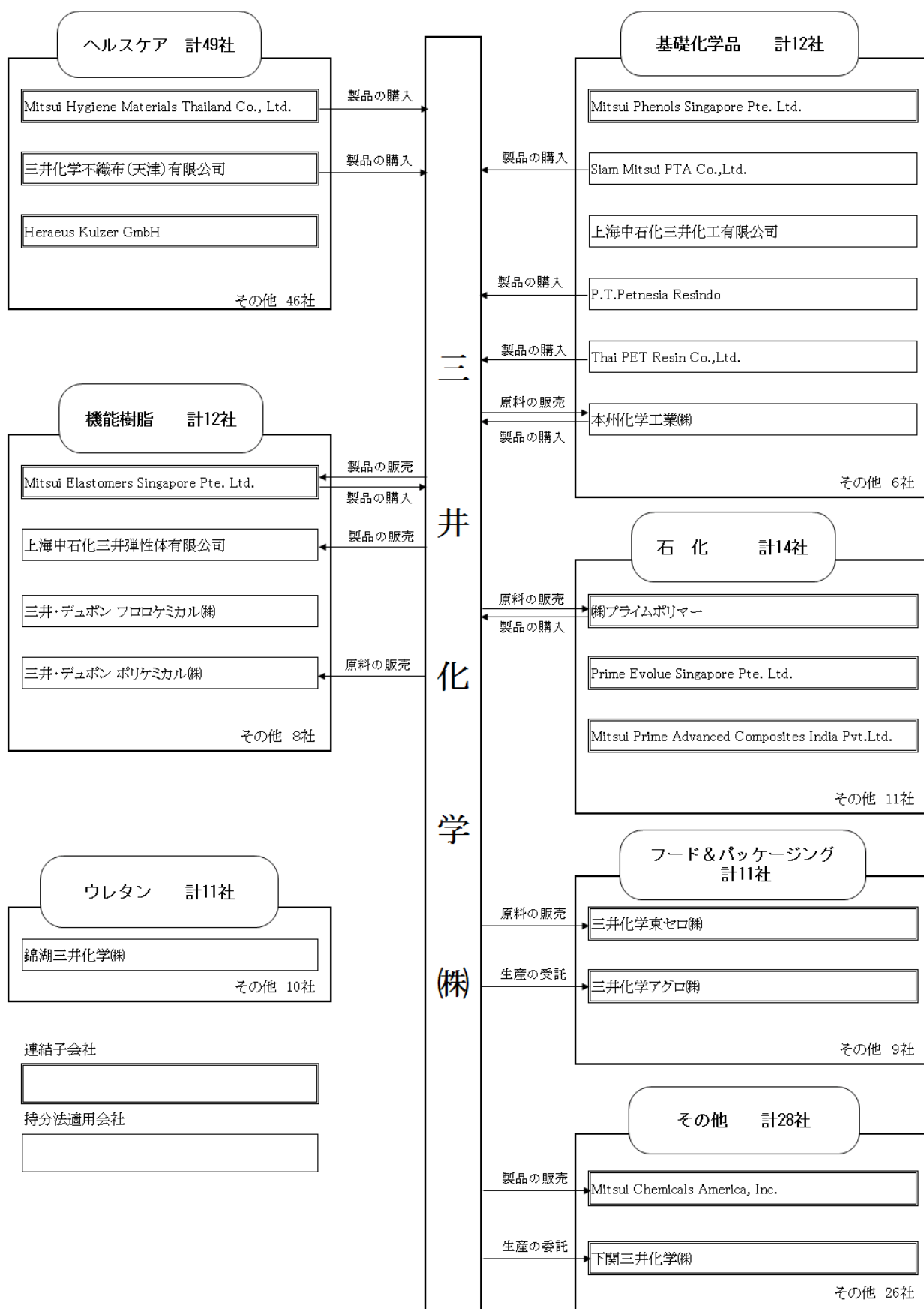
当社グループは、当社、子会社 111 社及び関連会社 32 社で構成され、ヘルスケア、機能樹脂、ウレタン、基礎化学品、石化及びフード&パッケージングの製造・販売を主な事業内容とし、さらに、各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

当社は、子会社のうち 100 社を連結し、清算状態等の 6 社を除く子会社及び関連会社 37 社に持分法を適用しております。

各セグメントにおける主要製品と主な関係会社は次のとおりです。

事業区分	主要製品	主な関係会社
ヘルスケア	ヘルスケア材料、不織布、歯科材料	Mitsui Hygiene Materials Thailand Co., Ltd.、三井化学不織布(天津)有限公司、Heraeus Kulzer GmbH その他 46 社 (計 49 社)
機能樹脂	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー	Mitsui Elastomers Singapore Pte. Ltd.、上海中石化三井弾性体有限公司、三井・デュポン フロロケミカル(株)、三井・デュポン ポリケミカル(株) その他 8 社 (計 12 社)
ウレタン	ポリウレタン材料、コーティング材料、接着材料、成形材料	錦湖三井化学(株) その他 10 社 (計 11 社)
基礎化学品	フェノール、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、エチレンオキサイド、特殊ガス、化成品	Mitsui Phenols Singapore Pte. Ltd.、Siam Mitsui PTA Co., Ltd.、上海中石化三井化工有限公司、P.T. Petnesia Resindo、Thai PET Resin Co., Ltd.、本州化学工業(株) その他 6 社 (計 12 社)
石化	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒	(株)プライムポリマー、Prime Evolve Singapore Pte Ltd.、Mitsui Prime Advanced Composites India Pvt. Ltd. その他 11 社 (計 14 社)
フード&パッケージング	機能性フィルム・シート、農薬	三井化学東セロ(株)、三井化学アグロ(株) その他 9 社 (計 11 社)
その他	その他関連事業等	Mitsui Chemicals America, Inc.、下関三井化学(株) その他 26 社 (計 28 社)

以上の企業集団の状況に関する事業系統図は次のとおりです。



なお、一部の会社は複数のセグメントに跨っております。